

教材・支援機器活用実践事例

【英文の構成を理解し表現できるようにするための指導】

	実施年度	平成29年度
授業について	教科名等	英語
	単元・題材名	New Horizon 3 Unit4 To Our Future Generation
	授業における教師のねらい	○「want 人 to 動詞」の文の構成を理解し、様々な英文を作って発言したり、書いたりすることができる。
	授業における子どもの目標	○絵を見て状況を日本語文や英文で言うことができる。 ○自分の表現したい文を考え、英文で言ったり書いたりすることができる。
子どもについて	学級・学校・学年	中学校
	対象の障がい (種別・診断名等)	難聴特別支援学級 (情緒障がい学級と合同で英語の授業を実施)
	授業形態	集団
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴学級の生徒Aは、語彙が少なく、自分の思いや状況を正しく伝えられないことがある。また、質問されている内容をうまく理解できないため、学習や生徒指導の際に大切な内容が伝わりづらい。また、聞き取りが不十分なため、発音が明瞭でない部分がある。 ・情緒障がい学級の生徒Bは、説明していることに関して、教師の意図がうまく伝わらないことがある。自分の考えを整理するのに時間を必要とする。 ・英語の授業に意欲的に取り組んでおり、発表にも積極的に取り組んでいる。
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	PowerPoint で作成 <p>スライド1 イラストを順に提示しながら内容を確認。</p> <p>スライド2 日本語文を確認。音読する。</p> <p>スライド3 英文を確認。音読する。</p>
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを活用することで、視覚的に内容を理解できるようにする。 ・「絵を見て内容のイメージをもつ」→「日本語文」→「英文」の流れで作成。 ・英語には助詞がなく、文法が理解できればおおよその意味の理解ができるため、取り組みやすい。日本語に対応する英単語を同じ色にすることで、文の構成が理解しやすいようにした。
授業における支援 ・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> ・画像を使ったり、文を色分けしたりして視覚的な配慮を行い提示することで、ことばの理解が難しい生徒でも内容のイメージをもち、日本語文や英文の意味や、語順の違いを理解しやすいようにした。 ・教材を提示しながら繰り返し発音することで、体感しながら英文を覚えられるようにした。
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・Power Point の画像に集中し、興味をもちながら気づいたことや考えたことを自由に発言することができた。 ・画像を提示したことで、ことばでの説明を多くすることなく、ことばの発達が十分でない生徒も内容を理解することができた。 ・自分で表現したい内容を考え、提示された構成文を参考にしながら積極的に発表することができた (生徒Aは「〇〇先生に走ってほしい」「〇〇先生に英語を教えてほしい」、生徒Bは「お母さんは僕に幸せになってほしい」など。)